

北東アジア動向分析

中国

第1四半期の経済成長率は9.9%～鉱工業生産が急速に拡大～

2003年第1四半期の中国経済は、予想を大きく上回る9.9%の高成長を記録した。これは1997年以降、最も高い成長率である。第1四半期の中国経済の特徴としては、鉱工業生産の伸びが著しかったこと、新規プロジェクトの着工が相次ぎ、固定資産投資が大幅に増加したこと、対外貿易額が拡大したこと、特に輸入が伸び、貿易赤字を記録したこと、直接投資が急激に伸びたことが挙げられる。

産業別に成長率をみると、第一次産業が3.5%、第二次産業が12.3%、第三次産業が7.6%で、第二次産業が大きく伸びたことが分かる。特に通信設備・計算機・電子製品、交通・運輸設備の製造業を中心とする鉱工業生産の伸び率は高く、95年以来の最高の17.2%を記録した。

工業生産が急成長を遂げた背景には、2002年に大幅に増加した外国直接投資が生産稼働段階に入ったこと、住宅投資と自動車需要の急増に伴い、鉄鋼や建設材料の生産、自動車の生産が急拡大したこと、通信設備・計算機・電子製品（前年同期比42.1%増）、電気機械（同34.0%増）などの輸出が好調であったことなどがある。

対外貿易では輸出が前年同期比33.5%増、輸入が同52.4%増と大きく伸びた。特に輸入の伸びが著しく、貿易収支は10億ドルの赤字を記録した。輸入の急増の背景には、石油、建設資材、自動車、食用油等の輸入量が急増したこと及び輸入品の国際価格の上昇がある。日本や韓国、ASEANからの輸入は50%以上、米国からの輸入は40%の伸び率となった。貿易収支は、4月には黒字に転じ、1-5月期の累計では黒字額は24億ドルとなった。

中国への海外直接投資も順調で、契約・実行ベースともに前年同期と比較して50%以上増加した。この急増は、

WTO加盟後、大幅に法整備が進むなど、投資環境が大々的に改善されたこと、世界的不況が続く中、中国経済だけが堅調で、国際資本に対して大きな吸収力を有していることなどを受けたものであろう。また、世界の工場としての中国の役割は衰えず、世界的な大企業の中国シフトが進み、それに追随する形で中小企業による対中投資も盛んになってきていることも指摘される。

第2四半期経済は、4月後半から深刻化した新型肺炎SARSの影響により、第1四半期よりも減速するものとみられる。ただし、観光、航空、飲食などサービス業への影響は大きいものの、高成長の牽引役とされる製造業へのダメージは少ないと指摘されており、温家宝首相もSARSの影響が中国経済全体に与える影響は一時的且つ局部的に過ぎないと発表し、今年の年間GDP成長率は目標である7%を達成できるとの見方を示している。

三峡ダムプロジェクトの進捗

1993年に着工した三峡ダムプロジェクトは、「万里の長城」以来の大規模建設工事と言われている。目指す総貯水量は日本のダムの総貯水量の約2倍に相当する393億m³である。工事はほぼ予定通りに進み、6月1日から段階的に貯水が開始され、6月10日には予定よりも5日早く水位135mに達した。現在、8月の発電開始を目指して急ピッチで工事が進められている。

8月から電力供給が開始されると、湖北省から江蘇省を経る形で華東地域の電力ネットワークが形成される。上海を中心とする華東地域は慢性的な電力不足に陥っており、今年の夏も深刻な電力不足が懸念されていただけに、このプロジェクトによる電力供給に対する期待が高まっている。

(ERINA調査研究部研究員 川村和美)

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	03年1-3月	03年1-5月
GDP成長率(%)	8.8	7.8	7.1	8.0	7.3	8.0	9.9	-
鉱工業生産伸び率(%)	13.1	10.8	8.9	9.9	8.9	10.2	(17.2)	(15.9)
固定資産投資伸び率(%)	8.8	13.9	6.3	9.3	12.1	(16.1)	(31.6)	(31.7)
社会消費品小売総額伸び率(%)	10.2	6.8	6.8	9.7	10.1	8.8	9.2	8.0
消費価格上昇率(%)	2.8	0.8	1.4	0.4	0.7	0.8	0.5	0.6
輸出入収支(億ドル)	403	436	291	241	226	304	10	24
輸出伸び率(%)	20.9	0.6	6.1	27.8	6.8	22.3	33.5	34.3
輸入伸び率(%)	2.5	1.5	18.2	35.8	8.2	21.2	52.4	45.5
直接投資額伸び率(契約ベース)(%)	19.7	30.4	18.9	50.8	10.4	19.6	59.6	42.2
(実行ベース)(%)	8.5	0.5	9.7	0.9	14.9	12.5	56.7	48.2
外貨準備高(億ドル)	1,399	1,450	1,547	1,656	2,122	2,864	3,160	-

(注) 前年同期比

()内の鉱工業生産伸び率は国有企業及び年間販売収入500万元以上の非国有企業の合計のみ。

()内の固定資産投資伸び率は集団所有制企業・個人企業を含まない。

"-"部分はデータ未入手。

(出所) 中国国家統計局、海関統計、中国外匯管理局資料、各種新聞報道より作成